

第1章. 関西の現状分析

- ▶ 人口減少および少子高齢化が進んでおり、特に**若い世代（20~30代）**の東京圏への転出が多い
- ▶ 関西経済は30年間伸び悩んでおり、東京圏のみならず**地方部**よりも**GRP成長率が低くなっている**
- ▶ **産業構造転換が遅れ**高所得産業の割合も低く、**長年所得向上が実現せず**、東京圏と比べて劣後している
- ▶ 関西において**付加価値額の増加**という形での**観光産業**の成長が期待できる
- ▶ 独自性ある観光資源が多数存在する。円安・コロナ禍からの回復といった**関西の強み・魅力・機会が、活かされていない**

第2章. 活性化の定義と関西の目指す姿

関西の想定される未来

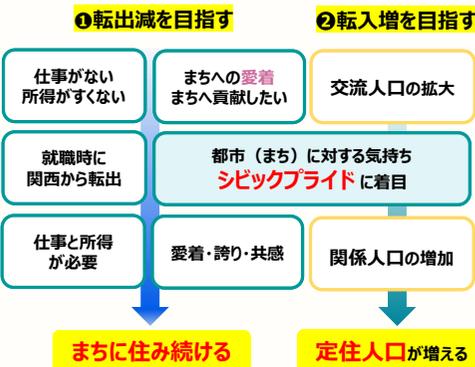


関西の活性化における着眼点

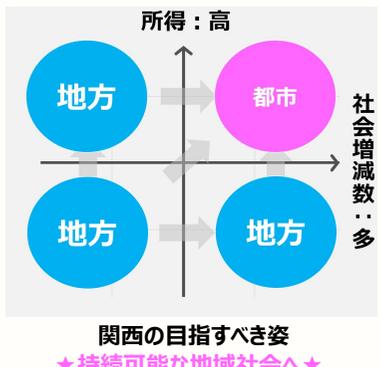
- 若い世代の流出防止 流入促進**
 - **仕事と所得**があると地元に残る
 - **子ども**たちが関西に**愛着**をもてる
- 経済をまわす**
 - 関西で**仕事と所得**を得て**消費**する
 - 関西がもつ**魅力**を活用する



人口の社会増のためには



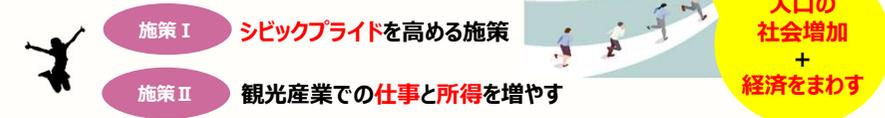
本提言のターゲットは「地方」



活性化の定義

地域が持つ**魅力**に誰しもが気づき活用され、それによって**地域経済が循環し**、かつ居住する人が「**シビックプライド**」を持ち、地域を育てている

ビジネスの視点で課題解決



第3章. 施策 I（シビックプライドを高める）



KANSAIわくわくフィールド



第3章. 施策 II（観光産業での仕事と所得を増やす）

施策 II-① 人の有効活用を通じて、各観光ジャンルで周遊を促進！



施策 II-② 推し活によるファンツーリズム



第4章. まとめ

